

美しい 県土づくりNEWS



2009年

3月

岩手県県土整備部
手づくり広報誌 56号
平成21年3月23日発行
編集 県土整備企画室

目次

- ◆2 平成21年度 県土整備部当初予算のポイント
- ◆4 第37回土木技術研究発表会開催
- ◆6 建設業新分野・新事業発表フォーラム開催
- ◆8 「平成20年度国土と交通に関する図画作文」表彰状伝達式を開催
- ◆9 一般県道桜峠平田線 本郷バイパス開通記念桜植樹
- ◆10 都市計画道路上野西法寺線が開通
- ◆11 木造住宅の耐震対策普及講座を開催しました！
- ◆12 ダムの湖面利用について

がんばろう！岩手2009

～三陸縦貫自動車道高田道路の先行整備区間が開通～

3月15日に大船渡市と陸前高田市を結ぶ三陸縦貫自動車道高田道路の先行整備区間(3.4km)の開通式が大船渡碁石海岸IC付近で行われ、テープカットとくす玉を割って完成を祝いました。

両市の境界にある交通の難所、^{なよなか}通岡峠にトンネルが開通し、地域間交流の活性化や救急医療の向上など、大きな効果が期待されています。



**重 要
施 策**

平成21年度 県土整備部当初予算のポイント

県土整備企画室

予算額

21年度当初予算	20年度予算	増減額	増減率
827億4660万円	820億1168万円	+7億3492万円	+0.9%

3つの緊急課題

H20 地震災害からの早期復旧

地域経済の活性化

H23 平泉世界遺産登録への支援

重点化する施策と推進事業

凡例：◎新規事業、○一部新規事業

I 災害に強い県土づくりの推進

■地震災害からの早期復旧に向けて道路・砂防災害の復旧工事を進めます。

- ・砂防災害の復旧
 - ◎砂防激甚災害特別緊急砂防事業〔一関市〕、◎直轄特定緊急砂防事業（国施行）〔一関市〕
- ・道路災害の復旧
 - 国道342号の災害復旧・河川等災害関連事業・道路改築事業〔一関市〕 他

■近い将来に発生が予想される宮城県沖地震等に対する備えを進めます。

- ・地震に強い住宅の普及
 - 木造住宅総合耐震支援事業 ※相談員の派遣・学校教育と連携した防災教育を追加
- ・津波災害の被害軽減
 - 銚ヶ崎〔宮古市〕の防潮堤 新規箇所、嶋之越海岸〔田野畑村〕の水門等完成
- ・地震発生後の救援ルートの確保
 - 緊急輸送道路の橋梁耐震補強の推進（うち優先確保ルートの完了）

■洪水、土砂災害への対策を着実に進めます。

- ・洪水対策
 - 米代川〔八幡平市〕・黄海川〔藤沢町〕のH19被災箇所の復旧完成、ダム建設事業の推進
- ・土砂災害対策
 - 砂防事業・急傾斜地崩壊対策事業の整備推進、土砂災害特別警戒区域からの住宅移転支援

II 産業の振興を支援する交通ネットワークの構築

■観光産業を支援します。

- ・いわて花巻空港の整備
 - H23.7月平泉世界遺産登録に向けた平行誘導路の整備再開
- ・観光地へのアクセス整備
 - 釜石住田線の滝観洞〔住田町〕 新規箇所、国道340号の土淵バypass〔遠野市〕の整備推進 他

■内陸部の工業団地等と港湾を結ぶ道路や高速道路のインターチェンジへのアクセス道路の整備、
港湾機能向上を進めます。

- ・久慈港関連
国道281号の大坊〔岩手町〕新規箇所の整備推進 他
- ・宮古港関連
国道106号の築川道路〔盛岡市〕・都南川目道路（国施行）〔盛岡市〕の整備促進 他
- ・釜石港関連
東北横断自動車道釜石秋田線の遠野～東和間の整備促進（国施行） 他
- ・大船渡港関連
国道284号の室根バイパス〔一関市〕新規箇所、国道397号の津付道路〔住田町〕、
大船渡港の整備推進 他
- ・インターチェンジへのアクセス道路
遠野住田線の新里〔遠野市〕新規箇所、国道107号の札押道路〔奥州市〕

■ものづくり産業を支援します。

- ・工業団地へのアクセス整備
国道284号の真滝バイパス〔一関市〕、平成橋〔北上市〕の整備推進 他

■農林水産業を支援する道路整備を進めます。

- ・農道整備事業等
南沢孫六〔一関市〕新規箇所、軽米九戸2期〔軽米町〕の整備推進 他
- ・林道整備事業等
三田貝〔岩泉町〕新規箇所、大松沢〔陸前高田市〕新規箇所の整備推進 他
- ・水産業支援道路
長部漁港線の長部〔陸前高田市〕新規箇所、吉浜上荒川線の下荒川〔釜石市〕新規箇所 他

III 戦略的な維持管理の推進

■施設を安心して利用して頂くために維持修繕関係の予算を拡充します。

- ・道路・河川維持修繕費等 9,978百万円（H20:8,928百万円）

■効率的・効果的・計画的な維持管理計画の策定を推進し、事後保全から予防保全型の維持管理
に転換を図ります。

IV 快適な生活環境と都市基盤の整備

■污水处理施設の整備を進めます。

- ・污水处理人口普及率：68.6%（H19）→80%（H22目標）

■ユニバーサルデザインを推進します。

- ・県営住宅の高齢者向け改善、道路の無電柱化・歩道整備 他

■都市基盤の整備を着実に進めます。

- ・盛南開発進捗率：77.4%（H20）→84.3%（H21） 他

V 建設業における構造改革の推進

■技術と経営に優れた企業が成長できる環境整備を進めます。

- ・総合評価落札方式・入札参加資格審査の評価項目等の拡充 他

■技術力・経営力の強化や新分野進出を支援します。

- ・コーディネーターの配置の拡大、取組への助成・貸付 他

■企業再編に向けた取組を促進します。

- ・再編手法等の情報提供、合併等への優遇措置 他

《参考》

岩手県全体の予算のあらまし等は、下記の県HPにてご覧になれます。

<http://www.pref.iwate.jp/syoku/>

第 37 回土木技術研究発表会開催

～県・市町村等の土木技術職員約 200 人が参加～

建設技術振興課

2月5日～6日の2日間にわたり、盛岡市紺屋町の盛岡市勤労福祉会館において、県土整備部主催、岩手県建設技術協会・(財)岩手県土木技術振興協会の共催により、平成20年度(第37回)土木技術研究発表会を、県・市町村等の土木技術職員約200名の参加により開催しました。

開会にあたり、佐藤県土整備部長が挨拶を行い、「昨年の2度にわたる地震に際しては、土木技術職員に総力を挙げて対応していただき感謝する。あわせて、土木技術者の役割の重要性と災害に強い県土づくりの必要性を再認識した。この発表会は職員の技術力の研鑽と向上を図るため開催しているもので、高い意識を持って聴講して欲しい。また、今回の経済危機は極めて深刻であり、今できることをスピード感を持って対応すること。」と参加者に呼びかけました。

今回の発表会では、県土整備部からは道路、河川など各分野における土木行政課題に対する取組みや施工事例の紹介など、また、農林水産部、企業局、下水道公社、工業技術センターからも、それぞれの取組み等あわせて18件の研究発表がありました。

また、特別発表では、一関総合支局の菊池土木部長が「岩手・宮城内陸地震の教訓」と題して、地震発生から今日まで現場の最前線で対応した様々な体験談をもとに、今後の教訓として「責任と情熱とチームワーク」が大事であると話しました。

特別講話では、社団法人共同通信社の柿元記者から「一記者の視点から一地域振興と公共事業を考える」と題して、岩手県の魅力に触れ地域振興のヒントとなる内容や、報道の役割・使命について特にも一般住民への広報・周知による危険回避の役割も担っていることなど、興味深いお話をいただきました。

講評では、建設技術振興課の藤原技術企画指導担当課長が「今回の発表では、環境や住民との協働等に関するものが多く、地球規模での環境対策や公共施設の整備・維持管理における行政と住民が一緒に取り組むことの大切さを考えるきっかけとなった。いずれの発表も意義のあるものばかりであり、今後の業務に役立てて欲しい。」と締めくくりました。



佐藤県土整備部長あいさつ



発表会の様子



菊池土木部長の特別発表



柿元記者の特別講話

平成20年度（第37回）土木技術研究発表会 次 第

月日	時 間	発 表 論 題	発 表 者	
			所 属	氏 名
2月5日 木曜日	9:40～	受付		
	10:15～10:30	開会あいさつ	県土整備部	部長 佐藤 文夫
	10:30～11:00	中小河川に関する河道計画の技術基準と多自然川づくりの取組みについて～平成20年度「多自然川づくり学校」活動報告～	河川課	技師 一戸 康弘
	11:00～11:30	元町川における多自然川づくりの取組みについて	盛岡地方振興局土木部 岩手出張所	主任 柴田 秀則
	11:00～12:00	環境共生型県営アパート（鳴石）の施工事例について	大船渡地方振興局土木部	主任 木村 賢司
	12:00～13:00	昼休み		
	13:00～14:00	【特別発表】 岩手・宮城内陸地震の教訓	一関総合支局土木部	部長 菊池 恭二
	14:00～14:30	ケーソン式防波堤の施工事例について	大船渡地方振興局水産部	主任 千葉 忠明 技師 清水 賢治
	14:30～15:00	二子地区漁村再生計画について ～漁場整備から販売までの取組み～	久慈地方振興局水産部	技師 薄衣 真一朗
	15:00～15:10	休憩		
	15:10～15:40	主要地方道大船渡広田陸前高田線小友地区軟弱地盤対策について	大船渡地方振興局土木部	技師 東城 直貴
	15:40～16:00	道路に関する苦情要望データの公表について	久慈地方振興局土木部	技師 西里 恒平
	16:10～16:40	河川行政における住民協働の取組みについて～久慈川の美化活動～	久慈地方振興局土木部	主任 佐藤 文範
	16:40～17:10	岩洞第一・第二発電所の管理体制について	企業局業務課	主任主査 戸来 博
2月6日 金曜日	9:00～	開場		
	9:20～9:50	中の沢筋南大沢砂防事業（ダブルウォール工法）の施工事例について	盛岡地方振興局土木部	主任 田村 達博
	9:50～10:20	一般国道106号「ゆずり車線」の設置について	宮古地方振興局土木部	技師 菊池 文明
	10:10～10:50	釜石港のソフト対策について	釜石地方振興局土木部	主査 及川 郷一
	10:50～11:00	休憩		
	11:00～11:30	一般国道340号林崎橋の床版補修工事の施工事例について	遠野土木センター	主任 小坂 勝義
	11:30～12:00	県境不法投棄物溶融スラグの土木資材としての骨材利用について	(地独)岩手県工業技術センター	上席専門研究員 菅原 龍江
	12:00～13:00	昼休み		
	13:00～14:30	【特別講話】 『一記者の視点から－ 地域振興と公共事業を考える』	(社)共同通信社 盛岡支局	記者 柿元 孟
	14:30～14:40	休憩		
	14:40～15:10	河川堆積土砂循環システムの構築について	県南広域振興局土木部	技師 鈴木 正義
	15:10～15:40	綱取ダムの流木材の有効利用について	綱取ダム管理事務所	技師 田沼 諭
	15:40～16:10	一般国道282号西根バイパス1期工区供用に伴う効果について	盛岡地方振興局土木部 岩手出張所	主任 西村 貴之
	16:10～16:40	下水道に関する知識の普及啓発活動について～出前講座を中心に～	(財)岩手県下水道公社	主任 佐藤 敦
16:40～17:00	講評	県土整備部 建設技術振興課	技術企画指導担当 課長 藤原 健二	
17:00	閉会			

建設業新分野・新事業発表フォーラム開催

建設技術振興課

(社)岩手県建設業協会・岩手県等の主催で第6回新分野・新事業発表フォーラムを2月17日(火)、盛岡市中央通のエスポワールいわてで開催しました。新分野進出等に係る表彰式に続き、受賞企業によるプレゼンテーション等を行ない、新分野進出などの経営革新に挑戦する企業の取組みを紹介していただきました。

新分野進出等に係る表彰は、農林水産、環境リサイクル、福祉、建設、サービス関連分野等、新分野・新事業への進出や新技術・新工法の開発など、先進的・意欲的な企業の取組みを顕彰し、広く奨励することを目的に、平成17年度から行っているものです。

今年度は、最優秀賞4社、優秀賞11社を表彰するとともに、奨励企業として9社を認定しました。

受賞した皆様の経営革新の取組みが、優れた先例となるよう期待しています。

なお、当日は、日頃の建設業に対する地域、県民の皆様のご理解に感謝して、建設企業が生産した商品のチャリティー販売も行われ、売上は、後日、全額、岩手県共同募金会に寄付されました。



表彰状授与式



記念撮影



プレゼンテーション



商品のチャリティー販売

建設業新分野・新事業発表フォーラム概要

○日時 平成21年2月17日(水) 10:00~17:00

第1部:表彰式 10:00~11:00

第2部:受賞者プレゼンテーション等 11:10~17:00

① 受賞者プレゼンテーション

② 過去の受賞者インタビュー(テーマ:「女性の眼から見た新分野進出」)

③ 講演(「建設業の環境ビジネスへの参入について」)

講師: NPO法人建設教育研究推進機構 理事長 大野 春雄氏)

○会場 エスポワールいわて(盛岡市中央通)

○主催 (社)岩手県建設業協会、岩手県、国土交通省東北地方整備局、東北地方建設産業再生協議会

○後援 (財)いわて産業振興センター、(社)岩手県建設産業団体連合会

平成20年度建設業新分野進出等表彰企業一覧(分野別五十音順)

1 最優秀賞(4社)

	分野	企業名	所在地	事業内容
1	農林水産	成和建设(株)	花巻市	生産から流通までの一貫した供給体制構築による農作業(稲作)の受託
2	保健福祉生活	(株)中館建設	二戸市	介護ステーション「わがーやにのへ横丁」の運営
3	建設	中亀建設(株)	盛岡市	歴史的建造物の改修・解体・移築から保全・活用までの総合展開
4	サービス関連	(株)山下組	花巻市	「na・te・mo(ナ・テ・モ)不動産ショッピングセンター」の開発・管理

2 優秀賞(11社)

	分野	企業名	所在地	事業内容
1	農林水産	(株)大久保建設	花巻市	マコモタケ(イネ科食用植物)の生産販売
2	農林水産	プレステック(株)	久慈市	四季成りいちご「こはく姫」の生産販売
3	農林水産	(株)増田組	二戸市	業務用いちご「ペチカ」の生産販売
4	農林水産	(株)山元	釜石市	マツカワの養殖
5	農林水産	(株)吉田組	八幡平市	原木乾しいたけの生産販売
6	環境リサイクル	新工住建(株)	盛岡市	コンクリート殻・アスファルト殻・木くず・抜根等産業廃棄物の破碎リサイクル
7	建設	蒲野建設(株)	久慈市	デッキハウス12・炭入りまな板の製造販売
8	建設	(株)栄組	遠野市	コンクリート構造物等のライフサイクルコストを大幅縮減する亀裂補修
9	サービス関連	工藤建設(株)	奥州市	水と紫外線に強い写真パネル「PINPIX」を使用した光る工事用看板の販売
10	サービス関連	(株)丸重	北上市	イングリッシュガーデンの提案・設計・施工
11	サービス関連	南建設(株)	軽米町	中古住宅のリフォーム販売、不動産の仲介業

3 奨励企業(9社) 表彰対象とはなりませんでしたが、意欲ある取組が評価され、「奨励企業」と認定されました。

	分野	企業名	所在地	事業内容
1	農林水産	(株)板屋組	奥州市	農産物、畜産物、花卉等の生産・仕入・加工・販売
2	農林水産	(株)共和開発	奥州市	金魚・錦鯉の養殖
3	農林水産	(有)駒ヶ谷建設	一戸町	リンドウの栽培
4	農林水産	横田建設(株)	一関市	原木乾しいたけの生産販売
5	建設	ACサカモト(株)	盛岡市	浄化槽設備の工事・管理、民間一般住宅の総合設計施工
6	サービス関連	(有)北福岡建設	二戸市	天然鮎・山菜の産直
7	サービス関連	(株)佐々木組	大船渡市	生花の販売、フラワーアレンジメント教室の運営
8	サービス関連	(株)司組	盛岡市	「盛南温泉 開運の湯」の開設・運営
9	サービス関連	(株)舞石組	一関市	ガソリンスタンドの経営

「平成20年度国土と交通に関する図画作文」表彰状伝達式を開催

県土整備企画室

県土づくりNEWSの2月号でもお知らせしていましたが、標記コンクールの図画部門で奥州市立白山小学校4年の鈴木風花さんが国土交通事務次官賞を受賞しました。

これをうけて、平成21年3月11日（水）奥州市立白山小学校の校長室にて、表彰状の伝達式を開催しました。

地元の新聞社の取材もある中、和やかな雰囲気の中で県南広域振興局土木部の菅原部長から鈴木さんに表彰状・盾等が手渡されました。



鈴木さんへ表彰状を伝達する菅原土木部長



記念写真

(左から、菅原土木部長、及川校長先生
鈴木風花さん、担任の先生)

◆◆◆ お知らせ ◆◆◆

本コンクールは平成13年度から毎年行われており、今年度で8回目を迎えました。

来年度も「小学生を対象とした図画部門」、「中学生を対象とした作文部門」において、コンクールが開催される予定です。

国土交通省からの実施要領等の送付が例年6月頃となっていますので、詳細がわかり次第お知らせします。なお、県内の応募締め切りは9月30日頃となります。(予定)

募集案内は、当室から県内全小中学校へ送付しておりますが、児童・生徒個人からの直接の応募も大歓迎です。次回コンクールへの皆様からの作品の応募をお待ちしております。

『国土交通 DAY』とは？・・・

国土交通省では、人々の生き生きとした暮らしとこれを支える活力ある経済社会、日々の安全、美しく良好な環境、多様性ある地域を実現するためのハード・ソフトの基盤の形成を推進するため、広く国民の理解と協力を得ることを目的として、国土交通省設置法が交付された平成11年7月16日にちなんで、毎年7月16日を「国土交通 DAY」とし、当コンクールや関係施設の一般公開など、様々なイベントを開催しています。

さくらとうけへい た 一般県道桜峠平田線 本郷バイパス開通記念桜植樹

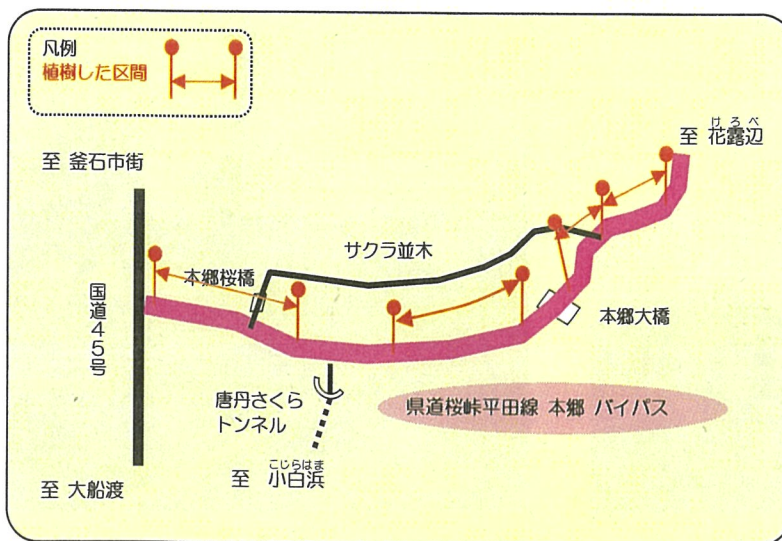
釜石地方振興局土木部



3月8日に釜石市唐丹町の一般県道桜峠平田線本郷バイパス（平成21年2月17日開通、延長1.53km）の沿道に、地域住民と釜石地方振興局土木部とが一緒に桜（ソメイヨシノ、オオヤマザクラ）の苗木約230本を植樹しました。

植樹当日は、本郷町内会、花露辺町内会、唐丹中学校、釜石地方振興局土木部から約70名が参加し、1.53kmのバイパスを4区間に分けて、道路の両側に植樹しました。慣れない斜面での作業に苦労しながらも、皆で協力し無事に終了しました。

同地区では3年ごとに「唐丹さくらまつり」を開催しており、従来の桜並木と併せて、桜の名所となることに期待が高まります。



道路の斜に桜を植える参加者の皆さん

うえのさいほうじ 都市計画道路上野西法寺線が開通

二戸地方振興局土木部



都市計画道路上野西法寺線は一戸町の市街地を横断する道路として、平成8年に都市計画決定されました。

一戸町の市街地は、馬淵川を挟み、西側に古くからの商店街やIGR一戸駅があり、東側には平成12年に開院した県立一戸病院やショッピングセンター、コミュニティセンターなどがあり新しい市街地が形成されています。

これらの地区を結ぶ道路として平成13年度から整備を進めてきた区間が、3月6日に開通しました。

これまでは、市街地を東西に結ぶ道路は歩道が無い1車線の道路しかありませんでしたが、本路線の開通が、一戸町の市街地活性化や児童生徒をはじめとした歩行者や車両の安全な交通確保につながることを期待しています。

《開通式の様子》



開通式当日はあいにくの小雨模様でしたが、来賓者や地権者、開通を待ちわびた多くの町民の方々が集まり、開通を祝いました。式典終了後は根反鹿踊り^{ねそり}を先頭として開通パレードが行われました。

木造住宅の耐震対策普及講座を開催しました！

久慈地方振興局土木部

今年度、宿戸中学校及び山根中学校の2校において「木造住宅の耐震対策普及講座」(出前講座)を開催しました。

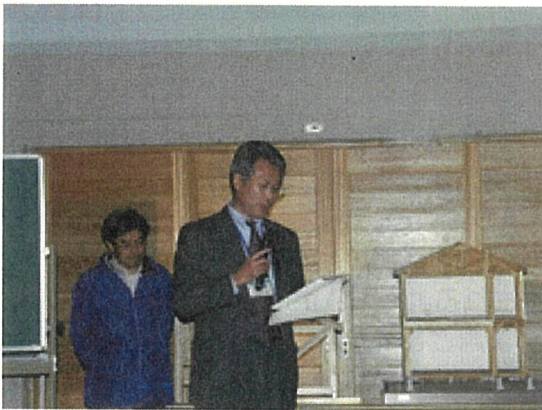
1 目的

安全・安心な地域、社会づくりの一環として、学校教育と連携し次世代を担う子供たちを対象に防災意識の継承と耐震対策の必要性について普及啓発を図ることを目的としています。

2 実施校

- ・平成20年10月26日 洋野町立宿戸中学校(1~3年) 文化祭(14:00~15:00)
- ・平成20年12月19日 久慈市立山根中学校(1~3年) 父母参観(5、6校時)

3 講義の様子



宿戸中学校での講義の様子①



宿戸中学校での講義の様子②



山根中学校での講義の様子①



山根中学校での講義の様子②

4 講義を終えて

山根中学校では大きな模型を使って木造住宅の軸組を説明(写真①)したり、耐力の違う2つの模型を同時に振動させて、その崩壊の様子を比較(写真②)するなど、視覚にも訴える講義ができたと思います。講義後の生徒の感想を聞いても、模型を使った実験が強く心に残ったようです。

地元の建築士会の協力を得て、自分たちでできる手作りの講座として取り組みました。来年度以降も、より分かりやすい講義ができるよう工夫していきたいと考えています。

ダムの湖面利用について

久慈地方振興局土木部 滝ダム管理事務所長 菊池 二三男

3月のずいぶんやさしい日差しに

湖面を覆いつくしていた氷が急に溶け始めている

今年の溶けかたはいつもより早いとか

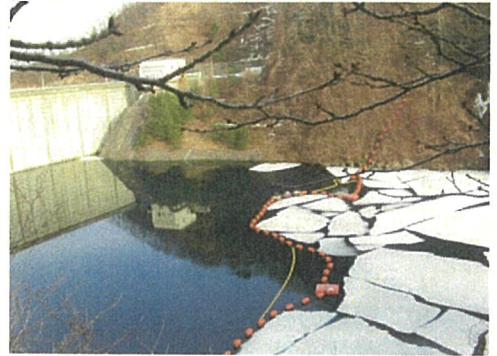
モトーンの景観に顔を出した翠^{みどり}の湖面は

すぐ訪れる新緑をいざなうように静かにただず

見事な季節ごとの変化にただただ立ちつくすだけ

今年の雪は滝ダム流域全体で見るとずいぶん多いそうで、

さあこれからの出水に遅れは許されないぞ



滝ダムが取り組んでいる、湖面利用の促進策。

昨年秋、地元の関係9団体で構成する「滝ダム周辺利活用推進協議会」による初めての「遊覧船就航」が行なわれました。ダムを地域資源としてとらえ、観光振興に、自然環境やもちろんダム機能の学習に、地域の歴史や文化を学ぶ場に、そして地域づくりにも活用したい。

協議会の取り組みには、大きな期待が膨らみます。

ダムの管理者は、洪水時にダム機能が円滑に発現されるように、毎日の地道な点検を基本とした施設管理が最重要課題です。また、この施設を地域の資源として活用していただくことも大切なことと考えており、積極的に地域の方々にアプローチすることも必要です。

3月11日(水)午後9時54分から、岩手めんこいテレビの県政番組「いわて希望大作戦」が放映され、湖面の利活用促進にかかる地元のみなさんの取り組みが紹介されました。このことは滝ダム管理者としても歓迎するところであり、こうしたツールを活用しながら、なるべく多くの方に情報提供していきたいと考えています。

湖面の利活用が行われることは、ダム管理者にとって手放しに喜ぶべきことではありません。

湖面利用の4つの基本原則「ダム機能保全の原則」「環境保全の原則」「公共性・自由使用の原則」「安全性の原則」が、適切に守られるように指導することはもちろん、場合によっては利用を毅然と断わることも必要です。利用を促進することは、管理者として「リスク」を負うことにもなります。

やはり、利用者として「信頼関係が構築できるか」が、そのためには「お互いに相手を理解し支え合えるか」が、それぞれに大切なのではないのでしょうか。

◆先に述べたテレビ取材でのコメントは、次のとおりです。

昨年秋 滝ダムでは遊覧船が就航し 多くの人で賑わいました。

ダムの役割は 洪水被害を少なくするだけでは ありません。

私たちは 地域の方々の「観光振興や地域おこしにつなげたい」

こうした 取り組みを 応援します。



※ 県政番組「いわて希望大作戦」は、テレビ放送の他に、下記のHPでも動画配信されています。

<http://www.menkoi-tv.co.jp/program/kibou/index.html>